

建設設備操業訓練施設整備計画

ACHIEVEMENTS

- 日本地雷処理を支援する会(JMAS)がウガンダ建設交通省(MoWT)及びUNIDOと協働で実施したトレーニングニーズ調査(TNA)は、12月16日に無事終了しました。TNAの実施にあたっては、MoWTインストラクターや建設機械オペレーター、民間企業、公的機関、職業訓練校、ウガンダ道路公団 (UNRA)、また地方政府スタッフに対して詳細なインタビューを行いました。
- 12月16日、JMASは在ウガンダ日本大使館、MoWT、コマツ、コマツの現地代理店であるVictoria Equipment、そしてウガンダ全国建設土木協会(UNABCEC)といったプロジェクトステークホルダーに対し、TNAの結果についてプレゼンテーションを実施しました。
- TNAの結果、インストラクターとオペレーターにおける必要なスキルとの現状のギャップが明らかになりました。この分析結果をもとに、求められるトレーニング内容や期間がプレゼンテーションにおいて提案されました。さらに、効果的なメンテナンスシステムなどの必要性も提案されました。
- JMASは12月18日、ドバイにあるコマツのトレーニング・デモンストレーションセンターを訪問しました。プロジェクトにおいて、将来的に同センターでMoWTインストラクター向けのトレーニングを実施予定です。その計画に必要な情報収集のため、同センターの視察を行いました。



ルウェロにて建設機械オペレーターに対し、インタビューを実施©UNIDO



TNAの質問票に回答するMoWTインストラクター©UNIDO

PLANNED ACTIVITIES IN JANUARY 2020

- Senior Monitoring and Evaluation (M&E) スペシャリストがウガンダを訪問し、M&Eシステムやツール、ガイドラインについてプロジェクト関係者にトレーニングを実施予定です。また、プロジェクトのため、M&Eロードマップを作成します。
- TNAの最終報告書はJMASが1月中旬に作成・提出し、プロジェクト関係者に共有される予定です。またその内容について、3月上旬のプロジェクトステアリングコミティーにおいて、関係者間で詳細に議論する予定です。
- UNIDO はインセプション・レポートの作成を行い、3月上旬のプロジェクトステアリングコミティーまでにプロジェクト関係者へ共有します。



12月16日に実施されたJMASによるTNAプレゼンテーション©UNIDO